

公益財団法人 石巻市芸術文化振興財団

- (1) 情報公開シート I (PDCAサイクルシート)
- (2) 情報公開シート II (財務諸表等)
- (3) 情報公開シート II の補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見書等
- (5) 定款又は寄附行為
- (6) 役員名簿
- (7) 事業報告書
- (8) 損益計算書又は正味財産増減計算書
- (9) 貸借対照表
- (10) キャッシュ・フロー計算書
- (11) 財産目録
- (12) 事業計画書



## 1 作成年月日・市所管部署

作成年月日 平成 28 年 6 月 27 日

市所管部署 石巻市 教育委員会生涯学習課

## 2 法人名称等

法人名称 公益財団法人石巻市芸術文化振興財団  
 法人所在地 石巻市 成田字小塚裏畑54  
 設立年月日 平成 1 年 2 月 22 日  
 代表者職・氏名 理事長 阿部和夫

## 設立目的・経過

目的：芸術文化事業を展開することにより、広く芸術文化及び地域社会の発展に寄与する。  
 経過：H1法人設立、市民会館・明芳館・友心館を管理受託。H8文化センターを管理受託。H16スポーツ振興財団と統合。H18～H23市民会館、文化センターの指定管理者。H26～河北総合センター、遊楽館の指定管理者。

## 3 定款上の事業内容

- (1) 芸術文化活動の普及振興に関する事業  
 (2) コミュニティ活動の促進及び支援に関する事業  
 (3) 芸術文化活動及びコミュニティ活動の推進を目的とした公共施設での管理運営に関する事業  
 (4) その他、目的を達成するために必要な事業  
 (5)

## 4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産総額	石巻市出資・出捐額	石巻市出資・出捐割合	市以外の出資・出捐者	市以外の者の出資・出捐額	市以外の者の出資・出捐割合
101,083 千円	100,000 千円	98.9 %	個人	1,000 千円	1.0 %
			個人	50 千円	0.0 %
				千円	%

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

## 5 役員・職員の状況

## (1) 役員状況

	H25期末	H26期末	H27期末
常勤	1	1	1
うち市職員			
うち市退職者	1	1	1
非常勤	9	9	10
うち市職員	2	2	1
うち市退職者	1	1	2
計	10	10	11
うち市職員	2	2	1
うち市退職者	2	2	3

## (2) 職員の状況

	H25期末	H26期末	H27期末
常勤	20	28	27
うち市職員			
うち市退職者			
非常勤		2	2
うち市職員			
うち市退職者		2	2
計	20	30	29
うち市職員			
うち市退職者		2	2

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

## 6 経営理念・方針

石巻市にふさわしい芸術文化の振興と心豊かな市民生活の形成による地域社会の発展に寄与する公益財団法人の役割を果たす。

平成25年4月1日に公益財団法人として新たにスタートしたが、これまで以上に公共性・公益性が重視されるとともに、さらなる効率的かつ効果的な法人運営が求められる。このような状況下、各種事業を継続的・安定的に展開できるよう常に検討を行いながら、地域や各関係機関との連携をも深め、質の高いサービスの提供に努める。

第三セクター情報公開シート I (PDCAサイクルシート)

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度期
事業実施にかかる総集客数	人	目標計画	5,500	6,000	6,500	7,000	7,500
		実績	8,451	11,937			
目標・指標の説明		主たる目的である芸術文化の普及振興状況をはかる一つ的手段として集客数を掲げるが、目的の達成度合いを人数や件数のみで読み取ることは困難であり、実施に至るまでの経過や実施目的及び内容が最も重要視されるべきものとする。このことから、今後は事業内容によっては集客数に増減が生じることを鑑み、目標計画は記載内容に留めたいとする。なお、H27事業においては、H26から指定管理者として施設管理と公演事業の一体的な事業運営が図られ、より市民のニーズに応える事業が実現できたことが、その集客数の実績からも明らかである。					
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
芸術文化の普及振興事業	指定管理施設及び学校等を活用し、要望に応じた公演を各所で実施した。	大ホールの補完策として、アリーナ等を活用した事業の企画運営が可能となり、公演事業の多様化を図ることができた。また、チケットの完売、満席が続く鑑賞者から大変好評であった。	指定管理事業の実施により、施設を活用した芸術文化事業を効率よく実施し、施設利用者に対し、芸術文化の普及振興を図ることができた。
事業の公共性、公益性	芸術文化活動の普及振興を図ることを目的に実施するものであり、鑑賞や体験を通じて広く芸術文化の発展に寄与するものである。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
震災復興支援並びにコミュニティ活動の促進及び支援事業	支援事業としての公演及び仮設住宅の集会所等における出前公演を開催し、幅広い層に対し、芸術文化事業の鑑賞機会を提供することができた。	芸術文化活動を通じ、被災者への復興支援に努めた。今後は需要の減少、支援の先細りが懸念されるため、的確な要望に応えた事業の実施が必要である。	支援による事業の実施の他、地域住民の要望を取り入れた事業を実施したことにより、鑑賞者からの評価が高い事業が実施できた。
事業の公共性、公益性	芸術文化活動の普及振興を図る目的と併せ、当財団が実施する芸術文化活動を通じ、震災からの復興支援を行い、ひいては地域のコミュニティ活動の活性化を図るきっかけづくりに寄与するものである。		

9 市が期待する役割、市意見等 (担当部署記載)

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。